

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2025 年

氏 名	佐伯 昌彦	担当科目	法と心理学
学 位			
2017 年 3 月	博士（法学）（東京大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
2007 年 3 月 2009 年 3 月	東京大学法学部卒業 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
2009 年 4 月～ 2012 年 3 月	東京大学大学院法学政治学研究科 助教		
2012 年 4 月～ 2014 年 3 月	千葉大学法経学部 准教授		
2014 年 4 月～ 2017 年 3 月	千葉大学法政経学部 准教授		
2017 年 4 月～ 2022 年 3 月	千葉大学大学院社会科学研究院 准教授		
2022 年 4 月～ 2025 年 3 月	立教大学法学部 教授		
2025 年 4 月	慶應義塾大学法学部 教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2023 年 5 月	【著書】 『法社会学の最前線』（有斐閣）212 頁～229 頁		
2023 年 2 月	『現代日本の紛争過程と司法政策——民事紛争全国調査 2016-2020』（東京大学出版会）347 頁～362 頁		
2022 年 6 月	『民主的司法の展望 四宮啓先生古稀記念論文集——統治主体としての国民への期待』（日本評論社）330 頁～347 頁		
2022 年 3 月	『スタンダード法社会学』（北大路書房）121 頁～130 頁		
2024 年 3 月	【論文】 「警察官による市民接触行動の規定要因とインパクトに関する縦断的研究——第一波調査の基礎的報告（1）」甲南法学 64 巻 3-4 号 383～421 頁（共著）		
2023 年 3 月	「警察との接触経験に関する探索的研究——神奈川県での予備調査の概要」甲南法学 63 巻 3-4 号 197 頁～228 頁（共著）		
2022 年 5 月	「少年法に対する世論の心理学的検討」法と社会研究 7 号 55 頁～86 頁		
2020 年 8 月	「弁護士費用の支払い意欲に関する二次分析——着手金と報酬金の支払い意欲の違いに着目して——」（法と実務）16 号 132 頁～187 頁		
2020 年 6 月	「訴訟上の和解の規定要因についての探索的検討——代理人の役割に注目した訴訟記録調査の分析——」（社会科学的研究）71 巻 2 号 53 頁～98 頁		
	ほか		
（参考：外部リンク）プロフィールURL			